

誰もが安心して暮らせる
人に優しいまちづくりをめざして



～ 社会福祉協議会の事業紹介 ～

平成19年度は、地域福祉活動計画2年目にあたり、誰もが安心して生活できる社会の実現と互助の文化の構築に向け、関係機関、市民の方々と協働により計画の推進に取り組んでいきます。地域福祉を推進する中核組織として、常に福祉情報を発信し、地域福祉活動の推進に努めていきます。



平成19年6月25日 第71号

発行……社会福祉法人
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
〒273-0195
鎌ヶ谷市初富928-429
総合福祉保健センター5F
TEL.047-444-2231
FAX.047-446-4545

組織体制の強化と啓発事業の充実

- 理事会、評議員会、各種委員会開催
- 社協会員の確保
- 共同募金運動の推進
- 広報紙、ホームページなどによる福祉情報の提供



在宅福祉サービス事業の推進

- ふれあいサービス(有料家事援助サービス：「住民参加」を基本とする介護保険対象外)の推進
- 在宅介護者のつどいの充実

要援助者への支援

- 心配ごと相談、心の相談の実施
- 地域福祉権利擁護事業への対応
- 福祉資金などの貸付



防災への備え

- 災害救援ボランティア養成講座、フォローアップ講座の開講
- 防災訓練などへの参加
- 災害ボランティア基金の啓発

福祉教育とボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの運営
- 市内小・中学校に福祉活動の支援
- 市民向け、小中高校生向けのボランティア体験、講座、研修会の充実



地域福祉事業の推進

- 地区社協事業への支援、連携(交流事業、あいさつ運動など)地域づくりの推進

受託事業

- 施設の労務・管理運営(社会福祉センター、福祉作業所友和園、地域福祉センター)
 - 地域支えあいセンター運営への協力
- ※今年度は1地区以上の設立を目標

皆さまからの会費が地域の福祉を支えています

地域福祉事業を推進するためには、皆さまから納入していただく会費が重要な財源となります。本会事業をご理解いただき、ひとりでも多くの方が、会費納入にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

■年会費

一般会費(1世帯あたり)	500円
法人会費(会社・商店等)	2,000円
施設・団体	2,000円

■平成18年度会費納入状況

一般会費	10,820,915円
法人会費	461,000円
施設・団体会費	178,500円
合計	11,460,415円





平成18・19年度 資金収支決算・予算書



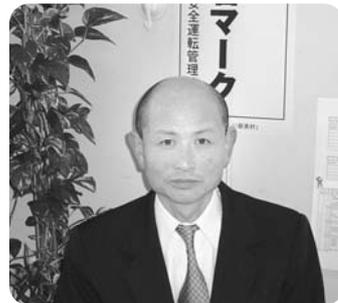
(単位：円)

(単位：千円)

会計名		18年度収入額	18年度支出額	残 高	19年度予算額
一般会計	法人運営	83,947,998	78,731,088	5,216,910	82,157
	共同募金配分金	9,625,000	9,625,000	0	9,702
	生活福祉資金	326,300	326,300	0	328
	高齢者・重度障害者資金	7,900	7,900	0	9
	社会福祉センター	24,408,950	23,765,950	643,000	24,597
	福祉作業所	65,177,575	63,214,240	1,963,335	44,874
	心配ごと相談	1,981,187	587,342	1,393,845	805
	ボランティア活動	5,699,782	3,977,259	1,722,523	4,643
	地区社協事業	15,877,496	14,652,882	1,224,614	15,073
	在宅サービス事業	609,117	353,176	255,941	449
一般会計合計		207,661,305	195,241,137	12,420,168	182,637
特別会計	地域福祉センター特別会計	1,642,512	1,021,690	620,822	1,435
	福祉資金特別会計	633,485	296,760	336,725	751
	善意銀行特別会計	13,942,586	853,233	13,089,353	2,700
	ふれあい基金特別会計	0	0	0	0
	ふれあいサービス特別会計	4,747,300	4,518,552	228,748	5,277
合計		228,627,188	201,931,372	26,695,816	192,800

人事異動のお知らせ

平成19年4月1日付けで、社会福祉協議会の事務局長として田中延佳が就任しましたのでお知らせします。



皆さん、こんにちは。
今回、4月1日付けで事務局長に着任いたしました。田中でございます。

私は、7年前の平成12年から2年間、社会福祉協議会の事務局員として、福祉関係者を始めとした皆さまの温かいご援助の下、職務を遂行させていただきました。

「初めまして」と言うよりも、ふるさとへ戻った気持ちで、「おひさしぶりです」と申し上げる方がよろしいかと思えます。

さて、現在の社会状況は、人が人らしく生きられる社会とは、言にくい状況と考えます。それは、各種社会のハード面は整備されましたが、家族や地域社会の

分離が進行しているようにも思えるからです。

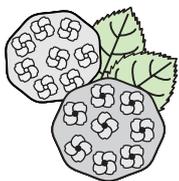
人はひとりでは生きられず、「共に生き共に支えあいながら」生活できるのが、人間としての、すばらしさではないでしょうか。

私は、このことを基本軸として、事業を推進してまいりたいと思えますが、市民の皆さまのお力がなければ、社会福祉協議会は成り立ちません。

ぜひ、市民の皆さまの温かいご支援を、当協議会にお与えいただくことを期待しております。

なお、事務所は市役所総合福祉保健センター内にありますので、ご用事がなくともお立ち寄りいただければ幸いです。

今後よろしく、ご指導をお願いいたします。



善意銀行

ありがとうございました

平成19年2月16日～平成19年5月15日
(敬称略・順不同)

名 前	寄付先	金額・品名	名 前	寄付先	金額・品名
匿名	社協	20,000円	ブロムナードダンスサークル	社協	20,000円
林跡第2排水組合	社協	7,692円	鎌ケ谷ニューボーイズ“うたごえ喫茶”	東部地区社協	10,000円
am/pm鎌ケ谷初富駅前店	社協	4,297円	花まつりをもっと身近にキャンペーン	社協	80,000円
馬込沢自治会	社協	10,000円	鎌ケ谷市民連連合会	社協	10,500円
明治安田生命労働組合船橋支部	社協	雑巾300枚	ゆうゆう四季の会	社協	16,070円
千葉土建鎌ケ谷支部	社協	542円	鎌ケ谷市母子寡婦福祉会	社協	事務用品5000円分
(有)ウイズ	社協	10,000円		社協	100,860円
鎌ケ谷モラロジー事務所	社協	5,000円			

平成18年度事業報告

1 法人運営事業

- ①会務運営（理事会5回、評議員会2回実施）
- ②啓発事業（広報紙年3回発行、ホームページによる福祉情報等の提供、地域福祉の振興を目的に第15回鎌ヶ谷市社会福祉大会を開催）
- ③福祉関係団体等への育成支援および調整（福祉団体、福祉NPO、福祉施設等）
- ④要援助者への支援（地域福祉権利擁護事業への対応、災害見舞金の交付等）
- ⑤福祉教育支援（市内小中学校への助成）
- ⑥共同募金運動の推進

2 地域福祉事業（地区社会福祉協議会事業）

- ①広報事業（地区社協広報紙を年2～3回発行）
- ②交流事業（ふれあいまつり、軽スポーツ大会、バスハイク等）
- ③在宅福祉事業（リハビリ教室、介護教室等）
- ④ボランティア育成事業（地域ボランティア活動の支援）

3 ボランティア育成事業（ボランティアセンター事業）

- ①相談2,272件 斡旋680件
- ②ボランティア体験事業 延べ183名参加
- ③ボランティア養成事業 延べ317名参加
- ④ボランティア交流事業 延べ297名参加



ふれあいサービス協力会員研修

4 在宅福祉事業

- ①ふれあいサービス 延べ活動利用回数2,334回 延べ活動利用時間数5,027時間
- ②在宅介護者の集い 毎月1回延べ298名参加

5 相談事業

- ①心配ごと相談…開催日数48日 64件
- ②心の相談………開催日数88日 133件

6 資金貸付事業

- ①総貸付相談件数……………41件
- ②福祉資金貸付……………10件
- ③生活福祉資金貸付申請受理 ……1件



福祉作業所 友和園



社会福祉センター

7 受託事業

- ①指定管理者事業
 - ・社会福祉センター 開館日293日 年間利用者数42,148名
 - ・福祉作業所友和園 在籍者数20名 生活、作業、就労指導
 - ・地域福祉センター 年間利用数 大会議室370回、団体活動室350回
- ②地域支えあいセンター モデル事業として東部地区・南部地区に設置

災害
ひとくちメモ
シリーズ①

災害用伝言ダイヤル

NTT災害用伝言ダイヤル 171



震度6弱以上の地震が発生すると、一般の電話回線、携帯電話とも安否確認、見舞い、問い合わせなどにより回線が込みあってしまい、電話の使用が困難になる可能性があります。このような時の対処方法として、NTTの災害用伝言ダイヤルを利用することが可能です。

- ①「伝言の登録方法」…ダイヤル「171」の後に「1」。そして自宅の電話番号を入力し、伝言の登録（30秒以内）。伝言保存期間は登録してから48時間。伝言蓄積数は1電話番号あたり1～10伝言。
- ②「伝言の再生」………ダイヤル「171」の後に「2」。そして、連絡の取りたい相手の電話番号を入力。
- ③利用できる電話……一般電話（プッシュ回線・ダイヤル回線）、公衆電話、特設公衆電話（災害時に避難場所に設置する電話）、携帯電話、PHS。
- ④疑似体験………下記のとおり疑似体験ができます。

【体験利用提供日】

- 毎月1日 0:00～24:00
- 正月3が日（1月1日0:00～1月3日24:00）
- 防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）
- 防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）

【提供条件】

- 蓄積伝言数 10伝言
- 伝言記録時間 30秒
- 伝言保存期間 6時間

ボランティアセンター

通信

総合福祉保健センター5F
問い合わせ TEL(442)2940
FAX(446)4545

開所時間

月～金曜日：午前9時～午後4時
第2・4土曜日：午後1時～午後4時

これからの予定

- 7月～8月
ジュニアボランティア
体験学習
- 10月～11月
市民ボランティア体験学習

第6回春のボランティアコンサート

報告

4月22日(日)、総合福祉保健センター6階大会議室にて、春のきらりコンサートを開催しました。当日は晴天に恵まれたこともあり、来場者は定員の200名を超える盛況ぶりでした。



学生ボランティアが企画・運営する「春のきらりコンサート」も今年で6年目となり、すっかりおなじみになりました。当日は、フルート独奏、アンサンブル、オペラ独唱、二重唱、ハーモニカ、ミュージックベル演奏など、様々なジャンルの音楽のほか、「みんなで踊ろう」などの会場参加型のプログラムでは、大いに盛り上がりました。最後は、今年のテーマ「ありがとう」にまつわるエピソード紹介がされ、笑いあり、涙ありであっという間の2時間でした。



“喫茶ボランティア”活動中!

ボランティア活動紹介

味・匠の会

中臺勝正



特別養護老人ホーム幸豊苑(粟野225-1)にて、毎月第1水曜日の午後2時から4時まで、喫茶ボランティアとしてボランティアグループ「味・匠の会」と北部地区の援護グループ「佐津間たんぼほの会」が合同で活動しています。活動中のお2人を紹介します。

佐津間たんぼほの会

篠宮とく子

「男の料理と仲間作り」講座の修了生で結成した「味・匠の会」のメンバーとして、幸豊苑での喫茶ボランティアをしています。コーヒー・紅茶・昆布茶など注文を受け、希望の飲み物をお出ししています。人によってコーヒーに砂糖を入れてはいけない人がいたり、接し方にとまどったりと、最初は職員の方に教えて頂きながらの活動でしたが、少しずつ慣れ、世間話から話はずみ、皆さんに「楽しかった」「また来て」と声をかけられ、来て良かったと嬉しく思いました。今後も続けていきたいと思っています。

活動日、喫茶の準備をしてホールで待っていると、皆さんは親しみの笑顔いっぱい席に着いてくださいます。2時間という限られた時間の中ではありますが、ご自分の生い立ちや昔の思い出話など、話し足りないほど話題でいっぱいです。長い人生、沢山の経験をしてこられた皆さんから、会話の中でもたくさん教えられます。微力な私たちの月1度の活動ですが、「待っていてください」とのお話を聞き、私たちが皆さんにお会いできるのを楽しみに続けていきたいと思っています。

ご存じですか?

団塊の世代の地域活動を支援するサイトができました。鎌ケ谷市からの委託を受け、市内のNPO法人「かまがや地域情報の窓」が制作しているものです。

ボランティアセンターに登録しているボランティア団体など、公益活動団体の情報のほか、イベント情報などが掲載されており、鎌ケ谷市ボランティアセンターも紹介されています。

これから地域活動を始めたい団塊の世代の方ももちろん、それ以外の年代の方にも、役に立つ地域情報が満載です。

「かまがや我ら団塊の世代」ホームページ
<http://www.kamagaya-dankai.or.jp>

または検索エンジンで「かまがや我ら団塊の世代」で検索



集めています

学生ボランティアは、小学6年生から大学生までの学生で組織され、障がいのある人たちと交流したり、福祉行事の手伝いなどの活動をしています。8月の「市民夏まつり」でバザーを実施するため、不用品の献品にご協力をお願いします。売り上げは活動資金として大切に使用させていただきます。

ボランティア募集 花づくりボランティア麦の会

花づくりを通じたボランティアをしています。毎月第2・4火曜日10:00～11:30、北部公民館にて活動中。